



中学 1 年担当の樋口 達也（ひぐちたつや）です。生徒の伸びている力を捉え、生徒が学校生活全般において成長を実感できる授業を目指しています。

本日の授業、中学 1 年 国語では…

○【何をやるの?】

中学校 1 年『星の花が降るころに』を題材とした授業です。生徒は、『星の花が降るころに』で学んだ比喻表現を活かして、小学校の頃に学んだ『プラタナスの木』『なまえつけてよ』で用いられている比喻表現を発見・分類・分析する活動を行います。その活動の中で、それぞれの作品のなかで用いられている比喻表現を種類や役割について読み取り、説明する力を育てたいと考えています。

○【見てほしいこと】

生徒が見通しをもって学習活動に取り組むことができるように、既習の知識や経験を活かすことができる題材（『プラタナスの木』は小 4、『なまえつけてよ』は小 5 の題材）を用います。

授業では、長野上水内の国語科研究委員の先生にも入っていただきます。生徒が自分の発見・分類・分析した比喻表現について、友達や参考の先生との対話を通して、自分の考えを確かなものにしていく姿をご覧ください。

本授業の参観を希望される方は、授業公開日前日までに右の Forms の QR コードか、下の URL から申し込みを行ってください。

申し込み

<https://forms.cloud.microsoft/r/DUgj4xHSBP>



【参観申し込みフォーム】

当日の流れ	受 付	13:30~13:45
	授業公開	13:50~14:40【1年A組】
	授業研究会	14:50~15:40【応接室】（教職員のみ）

☆ 控え室は小会議室です。貴重品はお持ちください。

☆ アンケートにご協力ください。

☆ 他の授業公開にも、お知り合いの方をお誘いの上、ぜひお越しください。





数学科の中澤 徹也(なかざわてつや)です。
生徒が統合的・発展的に考えることの面白さを感じ、自ら問いつづけるような数学の授業、数学的活動の充実を目指しています。

本日の授業は…

中学 2 年「一次関数の利用～新しい駅の運賃を見積るにはどうすればいいのだろう?～」

○【何をやるの?】 中学 2 年の小单元「一次関数の利用」では、「身の回りや数学の問題の解決に、一次関数はどう生かせるのか?」という問いのもと、一次関数の定義に合った事象や、定義に合わずとも近似できる事象を教材として扱い、一次関数の表、式、グラフの知識を駆使して問題を解決していきます。本時は、鉄道会社の社員になって、新しい駅の運賃はいくらに設定するとよいか、考えていきます。

○【見てほしいこと】 「運賃は走行距離の一次関数であるとみなせそうだ」と気づいた生徒が、これまでに獲得してきた一次関数の表、式、グラフの知識を駆動させて、自分なりの解決方法を選択して、始発駅から 60 km 付近に建設予定の新しい駅の運賃を予測していきます。そして、生徒は「わたしはこう考えた。あなたは?」と考えを交流し、教師は多様な考えを構造的にまとめ、深い学びの具現にトライします。

本授業の参観を希望される方は、授業公開日前日までに右の Forms の QR コードか、下の URL から申し込みを行ってください。

申し込み

<https://forms.cloud.microsoft/r/DUgj4xHSBP>



【参観申し込みフォーム】

当日の流れ	受付	13:30~13:45
	授業公開	13:50~14:40【2年A組】
	授業研究会	14:50~15:40【小会議室】(教職員のみ)

☆ 控え室は小会議室です。貴重品はお持ちください。

☆ アンケートにご協力ください。

☆ 他の授業公開にも、お知り合いの方をお誘いの上、ぜひお越しください。

